

平成 27 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮城県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	循環器・呼吸器病センター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）	2	大崎市	大崎市民病院岩出山分院	20
-	精神医療センター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）	3	大崎市	大崎市民病院鹿島台分院	21
-	がんセンター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）	4	蔵王町	蔵王町国民健康保険蔵王病院	22
-	こども病院（地方独立行政法人宮城県立こども病院）	5	川崎町	国民健康保険川崎病院	23
仙台市	市立病院	6	丸森町	丸森町国民健康保険丸森病院	24
石巻市	石巻市立病院	7	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院	25
石巻市	石巻市立牡鹿病院	8	美里町	美里町立南郷病院	26
塩竈市	塩竈市立病院	9	女川町	女川町立病院	27
気仙沼市	気仙沼市立病院	10	南三陸町	南三陸病院	28
気仙沼市	気仙沼市立本吉病院	11	白石市外二町組合	公立刈田総合病院	29
登米市	登米市立登米市民病院	12	黒川地域行政事務組合	公立黒川病院	30
登米市	登米市立米谷病院	13	加美郡保健医療福祉行政事務組合	公立加美病院	31
登米市	登米市立豊里病院	14	みやぎ県南中核病院企業団	みやぎ県南中核病院	32
栗原市	栗原市立栗原中央病院	15			
栗原市	栗原市立若柳病院	16			
栗原市	栗原市立栗駒病院	17			
大崎市	大崎市民病院	18			
大崎市	大崎市民病院鳴子温泉分院	19			

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	循環器・呼吸器病センター (地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,295,318,558	
標準財政規模(千円)	507,145,379	
財政力指数	0.59597	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	171.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,098			
1 経常収益	14,098			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	14,098			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,098			
2 経常費用	14,098			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	27.2
(うち委託料)	-	-	10.8	11.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	14,098			
(うち支払利息)	14,098	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	-		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27 年度	26 年度	25 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,295,318,558	
標準財政規模(千円)	507,145,379	
財政力指数	0.59597	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	171.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,078			
1 経常収益	9,078			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	9,078			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,078			
2 経常費用	9,078			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	92.3
材料費	-	-	24.1	9.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	6.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	-	-	9.0	12.2
経費	-	-	23.3	32.5
(うち委託料)	-	-	10.8	15.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	9,078			
(うち支払利息)	9,078	-	1.9	3.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	99.9
医業収支比率	-		89.5	68.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	32.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	50.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	32.2
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	67.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27 年度	-	-
26 年度	-	-
25 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	がんセンター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,295,318,558	
標準財政規模(千円)	507,145,379	
財政力指数	0.59597	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	171.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	144,848			
1 経常収益	144,848			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	144,848			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	144,848			
2 経常費用	144,848			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	55.3
材料費	-	-	24.1	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.5
減価償却費	-	-	9.0	8.8
経費	-	-	23.3	21.7
(うち委託料)	-	-	10.8	10.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	144,848			
(うち支払利息)	144,848	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	97.6
医業収支比率	-		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	こども病院(地方独立行政法人宮城県立こども病院)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,295,318,558	
標準財政規模(千円)	507,145,379	
財政力指数	0.59597	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	171.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	110,962			
1 経常収益	110,962			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	110,962			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	110,962			
2 経常費用	110,962			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	-	-	23.3	30.8
(うち委託料)	-	-	10.8	12.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	110,962			
(うち支払利息)	110,962	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	98.1
医業収支比率	-		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.3

備考:
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	仙台市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	52,286 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地
診療科数	25	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	467	83.5	78.5	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	14.8	-	0.5
感染症	8	8.0	9.2	6.0
計	525	75.8	73.0	74.7
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.8	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	1,082,159	
決算規模(千円)	520,717,051	
標準財政規模(千円)	236,960,836	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	122.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.6
修正医業収支金額(千円)	12,886,717

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,269,424			
1 経常収益	15,268,789			
(1) 医業収益	13,818,735			
入院収益	9,787,813			
外来収益	2,821,632			
診療収入計	12,609,445			
その他医業収益	1,209,290			
(うち他会計負担金)	932,018			
(2) 医業外収益	1,450,054			
(うち国・都道府県補助金)	45,084			
(うち他会計補助・負担金)	1,067,743			
(うち長期前受金戻入)	108,197			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	635			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,965,688			
2 経常費用	15,841,508			
(1) 医業費用	15,054,120			
職員給与費	7,569,403	54.8	54.5	49.7
材料費	2,869,736	20.8	24.1	27.4
(うち薬品費)	1,013,096	7.3	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,856,640	13.4	11.0	12.6
減価償却費	1,646,190	11.9	9.0	8.6
経費	2,895,856	21.0	23.3	20.4
(うち委託料)	1,435,114	10.4	10.8	11.0
研究研修費	68,447			
資産減耗費	4,488			
(2) 医業外費用	787,388			
(うち支払利息)	345,563	2.5	1.9	1.7
(3) 特別損失	124,180			
損益				
経常損益	-572,719			
純損益	-696,264			
累積欠損金	7,103,428			
経常収支比率	96.4		98.7	100.0
医業収支比率	91.8		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	13.1		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	83.8		86.8	90.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	38,505,334
1 固定資産	33,070,915
(1) 有形固定資産	32,455,344
(2) 無形固定資産	615,571
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,434,419
(1) 現金及び預金	3,217,053
(2) 未収金及び未収収益	2,225,269
(3) 貸倒引当金()	64,488
(4) 貯蔵品	56,585
3 繰延資産	-
負債合計	34,555,585
1 固定負債	26,371,979
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,749,637
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	40,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	582,342
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,599,616
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,763,666
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	460,361
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,206,902
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,583,990
(1) 長期前受金	2,073,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	489,622
資本合計	3,949,749
1 資本金	10,852,014
2 剰余金	-6,902,265
(1) 資本剰余金	201,163
(2) 利益剰余金	-7,103,428
負債・資本合計	38,505,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,847,468	1,999,761
資本勘定繰入	357,706	357,789
計	2,205,174	2,357,550

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	石巻市
	病院名	石巻市立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	147,214	
決算規模(千円)	281,120,804	
標準財政規模(千円)	41,668,659	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	48.5

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	否
許可公営企業	許可	経営形態	-
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,384,238			
1 経常収益	674,238			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	674,238			
(うち国・都道府県補助金)	257,320			
(うち他会計補助・負担金)	233,209			
(うち長期前受金戻入)	3,940			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	710,000			
(うち他会計繰入金)	710,000			
総費用	1,449,465			
2 経常費用	1,449,465			
(1) 医業費用	712,929			
職員給与費	592,702	-	54.5	4258.2
材料費	-	-	24.1	-
(うち薬品費)	-	-	12.6	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	-
減価償却費	3,940	-	9.0	28.3
経費	115,703	-	23.3	924.0
(うち委託料)	24,670	-	10.8	222.0
研究研修費	584			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	736,536			
(うち支払利息)	115,155	-	1.9	895.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-775,227			
純損益	-65,227			
累積欠損金	6,873,797			
経常収支比率	46.5		98.7	54.4
医業収支比率	-		89.5	1.9
他会計繰入金対経常収益比率	34.6		12.0	59.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	4877.9
他会計繰入金対総収益比率	68.1		12.3	74.8
実質収益対経常費用比率	30.4		86.8	22.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,375,077
1 固定資産	10,864,776
(1) 有形固定資産	9,849,250
(2) 無形固定資産	845
(3) 投資その他の資産	1,014,681
2 流動資産	2,510,301
(1) 現金及び預金	430,443
(2) 未収金及び未収収益	2,060,521
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	19,337
3 繰延資産	-
負債合計	17,057,980
1 固定負債	4,215,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,686,006
(2) その他の企業債	529,826
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,725,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	317,894
(2) その他の企業債	14,174
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	107,695
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	1,984,913
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,116,641
(1) 長期前受金	10,708,256
(2) 長期前受金収益化累計額()	591,615
資本合計	-3,682,903
1 資本金	2,626,146
2 剰余金	-6,309,049
(1) 資本金剰余金	1,014,681
(2) 利益剰余金	-7,323,730
負債・資本合計	13,375,077
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	3,682,903
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	105,800	943,209
資本勘定繰入	254,904	745,314
計	360,704	1,688,523

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1716.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	343,952
地財法上の資金不足比率(%)	80.6

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	石巻市
	病院名	石巻市立牡鹿病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	25	25.7	19.1	25.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	25.7	19.1	25.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.6	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	147,214	
決算規模(千円)	281,120,804	
標準財政規模(千円)	41,668,659	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	48.5

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,588 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	3	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	51.8
修正医業収支金額(千円)	352,369

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	710,358			
1 経常収益	710,358			
(1) 医業収益	426,672			
入院収益	56,361			
外来収益	283,518			
診療収入計	339,879			
その他医業収益	86,793			
(うち他会計負担金)	74,303			
(2) 医業外収益	283,686			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	229,188			
(うち長期前受金戻入)	42,988			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	703,174			
2 経常費用	703,174			
(1) 医業費用	680,492			
職員給与費	282,793	66.3	54.5	74.7
材料費	173,246	40.6	24.1	18.8
(うち薬品費)	163,460	38.3	12.6	11.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,754	2.3	11.0	6.4
減価償却費	53,725	12.6	9.0	12.5
経費	168,888	39.6	23.3	38.3
(うち委託料)	65,900	15.4	10.8	15.7
研究研修費	1,551			
資産減耗費	289			
(2) 医業外費用	22,682			
(うち支払利息)	162	-	1.9	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	7,184			
純損益	7,184			
累積欠損金	449,933			
経常収支比率	101.0		98.7	96.6
医業収支比率	62.7		89.5	68.6
他会計繰入金対経常収益比率	42.7		12.0	30.8
他会計繰入金対医業収益比率	71.1		14.0	45.9
他会計繰入金対総収益比率	42.7		12.3	30.5
実質収益対経常費用比率	57.9		86.8	66.9

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,375,077
1 固定資産	10,864,776
(1) 有形固定資産	9,849,250
(2) 無形固定資産	845
(3) 投資その他の資産	1,014,681
2 流動資産	2,510,301
(1) 現金及び預金	430,443
(2) 未収金及び未収収益	2,060,521
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	19,337
3 繰延資産	-
負債合計	17,057,980
1 固定負債	4,215,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,686,006
(2) その他の企業債	529,826
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,725,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	317,894
(2) その他の企業債	14,174
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	107,695
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	1,984,913
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,116,641
(1) 長期前受金	10,708,256
(2) 長期前受金収益化累計額()	591,615
資本合計	-3,682,903
1 資本金	2,626,146
2 剰余金	-6,309,049
(1) 資本金剰余金	1,014,681
(2) 利益剰余金	-7,323,730
負債・資本合計	13,375,077
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	3,682,903
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	325,828	303,491
資本勘定繰入	4,081	8,160
計	329,909	311,651

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1716.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	343,952
地財法上の資金不足比率(%)	80.6

備考:
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	塩竈市
	病院名	塩竈市立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	123	84.5	88.4	99.2
療養	38	93.4	79.3	94.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	86.6	86.3	98.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	18.0	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	54,187	
決算規模(千円)	41,681,202	
標準財政規模(千円)	12,138,752	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	18.4

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,495 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.7
修正医業収支金額(千円)	2,413,411

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,102,401			
1 経常収益	2,843,843			
(1) 医業収益	2,509,011			
入院収益	1,512,970			
外来収益	755,378			
診療収入計	2,268,348			
その他医業収益	240,663			
(うち他会計負担金)	95,600			
(2) 医業外収益	334,832			
(うち国・都道府県補助金)	17,736			
(うち他会計補助・負担金)	265,088			
(うち長期前受金戻入)	34,513			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	258,558			
(うち他会計繰入金)	258,511			
総費用	2,960,369			
2 経常費用	2,960,017			
(1) 医業費用	2,884,841			
職員給与費	1,355,096	54.0	54.5	58.9
材料費	521,914	20.8	24.1	18.0
(うち薬品費)	314,638	12.5	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	175,883	7.0	11.0	7.4
減価償却費	107,926	4.3	9.0	9.6
経費	885,046	35.3	23.3	30.8
(うち委託料)	257,874	10.3	10.8	12.1
研究研修費	4,738			
資産減耗費	10,121			
(2) 医業外費用	75,176			
(うち支払利息)	3,463	0.1	1.9	2.0
(3) 特別損失	352			
損益				
経常損益	-116,174			
純損益	142,032			
累積欠損金	3,425,387			
経常収支比率	96.1		98.7	98.1
医業収支比率	87.0		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	12.7		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	20.0		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	83.9		86.8	83.3

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,954,637
1 固定資産	1,373,569
(1) 有形固定資産	1,373,423
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	581,068
(1) 現金及び預金	14,707
(2) 未収金及び未収収益	549,033
(3) 貸倒引当金()	759
(4) 貯蔵品	18,087
3 繰延資産	-
負債合計	1,773,479
1 固定負債	339,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	299,648
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	26,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	13,919
2 流動負債	726,934
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	59,219
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	21,500
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	68,820
(6) リース債務	4,696
(7) 一時借入金	258,000
(8) 未払金及び未払費用	293,471
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	706,978
(1) 長期前受金	769,477
(2) 長期前受金収益化累計額()	62,499
資本合計	181,158
1 資本金	3,593,643
2 剰余金	-3,412,485
(1) 資本金剰余金	12,902
(2) 利益剰余金	-3,425,387
負債・資本合計	1,954,637
不良債務	65,147
実質資金不足額	65,147
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	431,950	619,199
資本勘定繰入	39,194	79,194
計	471,144	698,393

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	65,147	2.6
26年度	265,115	11.3
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	気仙沼市
	病院名	気仙沼市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	25,145 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
診療科数	18	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	27年度	26年度	25年度
一 般	400	67.9	66.2	63.0
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	4	-	-	-
計	404	67.2	65.6	62.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.6	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	64,988	
決算規模(千円)	147,712,514	
標準財政規模(千円)	18,744,085	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	8.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.4
修正医業収支金額(千円)	7,543,976

損益計算書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	8,467,045			
1 経 常 収 益	8,466,989			
(1) 医 業 収 益	7,772,139			
入 院 収 益	4,316,556			
外 来 収 益	3,077,429			
診 療 収 入 計	7,393,985			
そ の 他 医 業 収 益	378,154			
(うち他会計負担金)	228,163			
(2) 医 業 外 収 益	694,850			
(うち国・都道府県補助金)	19,359			
(うち他会計補助・負担金)	553,280			
(うち長期前受金戻入)	17,604			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	56			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	8,872,843			
2 経 常 費 用	8,869,843			
(1) 医 業 費 用	8,435,947			
職 員 給 与 費	3,865,647	49.7	54.5	53.1
材 料 費	1,817,358	23.4	24.1	25.1
(うち薬品費)	1,168,915	15.0	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	648,316	8.3	11.0	11.8
減 価 償 却 費	525,617	6.8	9.0	8.8
経 費	2,200,902	28.3	23.3	21.3
(うち委託料)	907,542	11.7	10.8	8.7
研 究 研 修 費	19,012			
資 産 減 耗 費	7,411			
(2) 医 業 外 費 用	433,896			
(うち支払利息)	87,097	1.1	1.9	1.8
(3) 特 別 損 失	3,000			
損 益				
経 常 損 益	-402,854			
純 損 益	-405,798			
累 積 欠 損 金	6,996,064			
経 常 収 支 比 率	95.5		98.7	98.7
医 業 収 支 比 率	92.1		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	86.6		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	12,012,451
1 固 定 資 産	9,718,917
(1) 有 形 固 定 資 産	9,282,649
(2) 無 形 固 定 資 産	5,158
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	431,110
2 流 動 資 産	2,293,534
(1) 現 金 及 び 預 金	894,685
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,312,418
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	4,621
(4) 貯 蔵 品	89,451
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	9,785,850
1 固 定 負 債	4,040,654
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,990,591
(2) そ の 他 の 企 業 債	7,521
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	41,397
(7) リ ー ス 債 務	1,145
2 流 動 負 債	1,587,081
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	673,729
(2) そ の 他 の 企 業 債	1,345
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	279,634
(6) リ ー ス 債 務	12,276
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	614,220
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	4,158,115
(1) 長 期 前 受 金	4,476,382
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	318,267
資 本 合 計	2,226,601
1 資 本 金	9,219,050
2 剰 余 金	-6,992,449
(1) 資 本 剰 余 金	117,021
(2) 利 益 剰 余 金	-7,109,470
負 債 ・ 資 本 合 計	12,012,451
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収益勘定繰入	753,265	781,443
資本勘定繰入	730,413	998,586
計	1,483,678	1,780,029

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
27 年 度	-	-
26 年 度	-	-
25 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	87.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	気仙沼市
		病院名	気仙沼市立本吉病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	1,902 m ²	指定病院の状況	
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	38	47.6	37.4	32.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	47.6	37.4	32.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	14.2	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	64,988	
決算規模(千円)	147,712,514	
標準財政規模(千円)	18,744,085	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	8.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.5
修正医業収支金額(千円)	374,995

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	579,352			
1 経常収益	579,060			
(1) 医業収益	374,995			
入院収益	154,559			
外来収益	197,206			
診療収入計	351,765			
その他医業収益	23,230			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	204,065			
(うち国・都道府県補助金)	17,506			
(うち他会計補助・負担金)	149,100			
(うち長期前受金戻入)	36,355			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	292			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	576,702			
2 経常費用	576,634			
(1) 医業費用	563,710			
職員給与費	284,447	75.9	54.5	74.7
材料費	42,533	11.3	24.1	18.8
(うち薬品費)	17,215	4.6	12.6	11.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,720	5.5	11.0	6.4
減価償却費	47,991	12.8	9.0	12.5
経費	187,606	50.0	23.3	38.3
(うち委託料)	68,547	18.3	10.8	15.7
研究研修費	1,133			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,924			
(うち支払利息)	1,453	0.4	1.9	1.9
(3) 特別損失	68			
損益				
経常損益	2,426			
純損益	2,650			
累積欠損金	126,311			
経常収支比率	100.4		98.7	96.6
医業収支比率	66.5		89.5	68.6
他会計繰入金対経常収益比率	25.7		12.0	30.8
他会計繰入金対医業収益比率	39.8		14.0	45.9
他会計繰入金対総収益比率	25.7		12.3	30.5
実質収益対経常費用比率	74.6		86.8	66.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,012,451
1 固定資産	9,718,917
(1) 有形固定資産	9,282,649
(2) 無形固定資産	5,158
(3) 投資その他の資産	431,110
2 流動資産	2,293,534
(1) 現金及び預金	894,685
(2) 未収金及び未収収益	1,312,418
(3) 貸倒引当金()	4,621
(4) 貯蔵品	89,451
3 繰延資産	-
負債合計	9,785,850
1 固定負債	4,040,654
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,990,591
(2) その他の企業債	7,521
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	41,397
(7) リース債務	1,145
2 流動負債	1,587,081
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	673,729
(2) その他の企業債	1,345
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	279,634
(6) リース債務	12,276
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	614,220
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,158,115
(1) 長期前受金	4,476,382
(2) 長期前受金収益化累計額()	318,267
資本合計	2,226,601
1 資本金	9,219,050
2 剰余金	-6,992,449
(1) 資本金剰余金	117,021
(2) 利益剰余金	-7,109,470
負債・資本合計	12,012,451
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	141,916	149,100
資本勘定繰入	14,070	14,070
計	155,986	163,170

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	登米市
	病院名	登米市立登米市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,796 m ²	指定病院の状況	救 災 輪
診療科数	15	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	27年度	26年度	25年度
一 般	258	61.5	59.6	67.7
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	258	61.5	59.6	67.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	18.7	19.6

設立団体の状況		
人 口(人)	81,959	
決 算 規 模(千円)	47,222,173	
標 準 財 政 規 模(千円)	29,069,804	
財 政 力 指 数	0.36	
経 常 収 支 比 率(%)	85.2	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	47.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.8
修正医業収支金額(千円)	3,821,210

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	5,144,094			
1 経 常 収 益	4,808,383			
(1) 医 業 収 益	4,324,379			
入 院 収 益	2,012,934			
外 来 収 益	1,629,316			
診 療 収 入 計	3,642,250			
そ の 他 医 業 収 益	682,129			
(うち他会計負担金)	503,169			
(2) 医 業 外 収 益	484,004			
(うち国・都道府県補助金)	4,856			
(うち他会計補助・負担金)	371,409			
(うち長期前受金戻入)	76,211			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	335,711			
(うち他会計繰入金)	152,055			
総 費 用	5,905,673			
2 経 常 費 用	5,187,416			
(1) 医 業 費 用	4,973,730			
職 員 給 与 費	2,564,646	59.3	54.5	57.6
材 料 費	660,439	15.3	24.1	20.9
(うち薬品費)	408,490	9.4	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	251,286	5.8	11.0	9.8
減 価 償 却 費	438,339	10.1	9.0	9.3
経 費	1,292,011	29.9	23.3	27.2
(うち委託料)	462,178	10.7	10.8	11.2
研 究 研 修 費	8,659			
資 産 減 耗 費	9,636			
(2) 医 業 外 費 用	213,686			
(うち支払利息)	98,684	2.3	1.9	2.1
(3) 特 別 損 失	718,257			
損 益				
経 常 損 益	-379,033			
純 損 益	-761,579			
累 積 欠 損 金	10,834,937			
経 常 収 支 比 率	92.7		98.7	96.6
医 業 収 支 比 率	86.9		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.2		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	20.2		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	20.0		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	75.8		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	8,414,579
1 固 定 資 産	6,981,218
(1) 有 形 固 定 資 産	6,913,550
(2) 無 形 固 定 資 産	1,288
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	66,380
2 流 動 資 産	1,433,361
(1) 現 金 及 び 預 金	499,135
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	897,287
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	5,020
(4) 貯 蔵 品	41,959
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	7,448,174
1 固 定 負 債	4,266,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,582,693
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	150,000
(6) 引 当 金	1,520,776
(7) リ ー ン 債 務	13,084
2 流 動 負 債	1,909,485
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	315,098
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	245,745
(6) リ ー ン 債 務	21,441
(7) 一 時 借 入 金	900,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	363,761
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	43,000
3 繰 延 収 益	1,272,136
(1) 長 期 前 受 金	1,574,547
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	302,411
資 本 合 計	966,405
1 資 本	13,393,700
2 剰 余 金	-12,427,295
(1) 資 本 剰 余 金	148,516
(2) 利 益 剰 余 金	-12,575,811
負 債 ・ 資 本 合 計	8,414,579
不 良 債 務	161,026
実 質 資 金 不 足 額	161,026
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	960,220	1,026,633
資 本 勘 定 繰 入	189,883	339,605
計	1,150,103	1,366,238

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
27 年 度	161,026	2.6
26 年 度	561,816	9.0
25 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	199.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	登米市
	病院名	登米市立米谷病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,303 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	49	73.7	76.9	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	73.7	76.9	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	19.1	20.4

設立団体の状況		
人口(人)	81,959	
決算規模(千円)	47,222,173	
標準財政規模(千円)	29,069,804	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	85.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	47.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.2
修正医業収支金額(千円)	872,513

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,048,225			
1 経常収益	1,021,892			
(1) 医業収益	919,975			
入院収益	321,249			
外来収益	511,356			
診療収入計	832,605			
その他医業収益	87,370			
(うち他会計負担金)	47,462			
(2) 医業外収益	101,917			
(うち国・都道府県補助金)	40			
(うち他会計補助・負担金)	89,700			
(うち長期前受金戻入)	8,620			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,333			
(うち他会計繰入金)	23,393			
総費用	1,184,907			
2 経常費用	1,087,889			
(1) 医業費用	1,048,158			
職員給与費	447,531	48.6	54.5	74.7
材料費	307,139	33.4	24.1	18.8
(うち薬品費)	276,185	30.0	12.6	11.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,207	3.3	11.0	6.4
減価償却費	47,383	5.2	9.0	12.5
経費	243,938	26.5	23.3	38.3
(うち委託料)	64,655	7.0	10.8	15.7
研究研修費	1,174			
資産減耗費	993			
(2) 医業外費用	39,731			
(うち支払利息)	485	0.1	1.9	1.9
(3) 特別損失	97,018			
損益				
経常損益	-65,997			
純損益	-136,682			
累積欠損金	1,360,917			
経常収支比率	93.9		98.7	96.6
医業収支比率	87.8		89.5	68.6
他会計繰入金対経常収益比率	13.4		12.0	30.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.9		14.0	45.9
他会計繰入金対総収益比率	15.3		12.3	30.5
実質収益対経常費用比率	81.3		86.8	66.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,414,579
1 固定資産	6,981,218
(1) 有形固定資産	6,913,550
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	66,380
2 流動資産	1,433,361
(1) 現金及び預金	499,135
(2) 未収金及び未収収益	897,287
(3) 貸倒引当金()	5,020
(4) 貯蔵品	41,959
3 繰延資産	-
負債合計	7,448,174
1 固定負債	4,266,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,582,693
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	150,000
(6) 引当金	1,520,776
(7) リース債務	13,084
2 流動負債	1,909,485
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	315,098
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	245,745
(6) リース債務	21,441
(7) 一時借入金	900,000
(8) 未払金及び未払費用	363,761
(9) 前受金及び前受収益	43,000
3 繰延収益	1,272,136
(1) 長期前受金	1,574,547
(2) 長期前受金収益化累計額()	302,411
資本合計	966,405
1 資本金	13,393,700
2 剰余金	-12,427,295
(1) 資本金剰余金	148,516
(2) 利益剰余金	-12,575,811
負債・資本合計	8,414,579
不良債務	161,026
実質資金不足額	161,026
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	155,226	160,555
資本勘定繰入	2,580	11,761
計	157,806	172,316

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	161,026	2.6
26年度	561,816	9.0
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	199.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	登米市
	病院名	登米市立豊里病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,119 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	69	61.6	61.1	64.3
療養	30	99.3	100.0	99.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	73.0	72.9	74.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	18.1	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	81,959	
決算規模(千円)	47,222,173	
標準財政規模(千円)	29,069,804	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	85.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	47.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.1
修正医業収支金額(千円)	1,007,712

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,288,904			
1 経常収益	1,223,071			
(1) 医業収益	1,061,731			
入院収益	608,042			
外来収益	357,460			
診療収入計	965,502			
その他医業収益	96,229			
(うち他会計負担金)	54,019			
(2) 医業外収益	161,340			
(うち国・都道府県補助金)	100			
(うち他会計補助・負担金)	152,113			
(うち長期前受金戻入)	4,403			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	65,833			
(うち他会計繰入金)	58,483			
総費用	1,416,492			
2 経常費用	1,278,128			
(1) 医業費用	1,243,085			
職員給与費	687,852	64.8	54.5	66.5
材料費	129,620	12.2	24.1	18.1
(うち薬品費)	87,995	8.3	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,732	3.8	11.0	5.6
減価償却費	76,546	7.2	9.0	11.3
経費	347,046	32.7	23.3	30.5
(うち委託料)	104,798	9.9	10.8	11.7
研究研修費	1,769			
資産減耗費	252			
(2) 医業外費用	35,043			
(うち支払利息)	8,156	0.8	1.9	2.4
(3) 特別損失	138,364			
損益				
経常損益	-55,057			
純損益	-127,588			
累積欠損金	379,957			
経常収支比率	95.7		98.7	97.7
医業収支比率	85.4		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.4		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	20.5		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	79.6		86.8	76.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,414,579
1 固定資産	6,981,218
(1) 有形固定資産	6,913,550
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	66,380
2 流動資産	1,433,361
(1) 現金及び預金	499,135
(2) 未収金及び未収収益	897,287
(3) 貸倒引当金()	5,020
(4) 貯蔵品	41,959
3 繰延資産	-
負債合計	7,448,174
1 固定負債	4,266,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,582,693
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	150,000
(6) 引当金	1,520,776
(7) リース債務	13,084
2 流動負債	1,909,485
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	315,098
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	245,745
(6) リース債務	21,441
(7) 一時借入金	900,000
(8) 未払金及び未払費用	363,761
(9) 前受金及び前受収益	43,000
3 繰延収益	1,272,136
(1) 長期前受金	1,574,547
(2) 長期前受金収益化累計額()	302,411
資本合計	966,405
1 資本金	13,393,700
2 剰余金	-12,427,295
(1) 資本金剰余金	148,516
(2) 利益剰余金	-12,575,811
負債・資本合計	8,414,579
不良債務	161,026
実質資金不足額	161,026
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	242,781	264,615
資本勘定繰入	62,540	133,811
計	305,321	398,426

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	161,026	2.6
26年度	561,816	9.0
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	199.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立栗原中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,207 m ²	指定病院の状況	救臨 災 輪
診療科数	16	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	250	64.2	64.4	65.9
療養	50	57.4	69.3	72.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	63.1	65.1	66.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	18.1	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	46,449,079	
標準財政規模(千円)	29,424,631	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	85.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	61.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.7
修正医業収支金額(千円)	3,604,648

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,437,528			
1 経常収益	4,437,528			
(1) 医業収益	3,763,186			
入院収益	2,490,014			
外来収益	972,773			
診療収入計	3,462,787			
その他医業収益	300,399			
(うち他会計負担金)	158,538			
(2) 医業外収益	674,342			
(うち国・都道府県補助金)	32,775			
(うち他会計補助・負担金)	520,589			
(うち長期前受金戻入)	82,878			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,791,911			
2 経常費用	4,791,419			
(1) 医業費用	4,522,703			
職員給与費	2,125,060	56.5	54.5	55.3
材料費	686,815	18.3	24.1	24.2
(うち薬品費)	330,412	8.8	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	356,403	9.5	11.0	11.5
減価償却費	416,848	11.1	9.0	8.8
経費	1,277,168	33.9	23.3	21.7
(うち委託料)	506,305	13.5	10.8	10.3
研究研修費	13,191			
資産減耗費	3,621			
(2) 医業外費用	268,716			
(うち支払利息)	149,738	4.0	1.9	2.1
(3) 特別損失	492			
損益				
経常損益	-353,891			
純損益	-354,383			
累積欠損金	5,910,389			
経常収支比率	92.6		98.7	97.6
医業収支比率	83.2		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.3		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	18.0		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	15.3		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	78.4		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,423,382
1 固定資産	13,216,381
(1) 有形固定資産	12,924,127
(2) 無形固定資産	1,191
(3) 投資その他の資産	291,063
2 流動資産	2,207,001
(1) 現金及び預金	1,236,250
(2) 未収金及び未収収益	921,864
(3) 貸倒引当金()	332
(4) 貯蔵品	49,219
3 繰延資産	-
負債合計	12,987,552
1 固定負債	11,399,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,397,181
(2) その他の企業債	2,066
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,351,361
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	810,006
(2) その他の企業債	511
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	213,376
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	325,460
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	236,944
(1) 長期前受金	382,671
(2) 長期前受金収益化累計額()	145,727
資本合計	2,435,830
1 資本金	8,976,344
2 剰余金	-6,540,514
(1) 資本金剰余金	18,650
(2) 利益剰余金	-6,559,164
負債・資本合計	15,423,382
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	666,862	679,127
資本勘定繰入	334,361	343,171
計	1,001,223	1,022,298

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	111.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立若柳病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,581 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	90	74.9	67.1	75.5
療養	30	73.5	83.9	81.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	74.6	71.3	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	19.6	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	46,449,079	
標準財政規模(千円)	29,424,631	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	85.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	61.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.0
修正医業収支金額(千円)	1,372,348

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,634,990			
1 経常収益	1,634,990			
(1) 医業収益	1,437,764			
入院収益	874,570			
外来収益	442,514			
診療収入計	1,317,084			
その他医業収益	120,680			
(うち他会計負担金)	65,416			
(2) 医業外収益	197,226			
(うち国・都道府県補助金)	1,533			
(うち他会計補助・負担金)	188,633			
(うち長期前受金戻入)	3,817			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,725,112			
2 経常費用	1,724,656			
(1) 医業費用	1,614,313			
職員給与費	823,385	57.3	54.5	58.9
材料費	191,875	13.3	24.1	18.0
(うち薬品費)	117,276	8.2	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	74,599	5.2	11.0	7.4
減価償却費	112,701	7.8	9.0	9.6
経費	479,615	33.4	23.3	30.8
(うち委託料)	166,051	11.5	10.8	12.1
研究研修費	1,903			
資産減耗費	4,834			
(2) 医業外費用	110,343			
(うち支払利息)	59,232	4.1	1.9	2.0
(3) 特別損失	456			
損益				
経常損益	-89,666			
純損益	-90,122			
累積欠損金	436,685			
経常収支比率	94.8		98.7	98.1
医業収支比率	89.1		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	15.5		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	17.7		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	15.5		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	80.1		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,423,382
1 固定資産	13,216,381
(1) 有形固定資産	12,924,127
(2) 無形固定資産	1,191
(3) 投資その他の資産	291,063
2 流動資産	2,207,001
(1) 現金及び預金	1,236,250
(2) 未収金及び未収収益	921,864
(3) 貸倒引当金()	332
(4) 貯蔵品	49,219
3 繰延資産	-
負債合計	12,987,552
1 固定負債	11,399,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,397,181
(2) その他の企業債	2,066
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,351,361
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	810,006
(2) その他の企業債	511
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	213,376
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	325,460
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	236,944
(1) 長期前受金	382,671
(2) 長期前受金収益化累計額()	145,727
資本合計	2,435,830
1 資本金	8,976,344
2 剰余金	-6,540,514
(1) 資本金剰余金	18,650
(2) 利益剰余金	-6,559,164
負債・資本合計	15,423,382
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,230	254,049
資本勘定繰入	95,800	95,800
計	346,030	349,849

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	111.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立栗駒病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	45	72.2	71.2	79.6
療養	30	75.9	84.7	81.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	75	73.7	76.6	80.4
平均在院日数（一般病床のみ）		19.9	19.0	19.9

設立団体の状況		
人口（人）	69,906	
決算規模（千円）	46,449,079	
標準財政規模（千円）	29,424,631	
財政力指数	0.33	
経常収支比率（%）	85.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.6
	将来負担比率（%）	61.5

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,954 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	68.6
修正医業収支金額（千円）	609,063

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	867,108			
1 経常収益	867,108			
(1) 医業収益	673,195			
入院収益	419,782			
外来収益	167,139			
診療収入計	586,921			
その他医業収益	86,274			
(うち他会計負担金)	64,132			
(2) 医業外収益	193,913			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	186,425			
(うち長期前受金戻入)	3,166			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	931,019			
2 経常費用	930,622			
(1) 医業費用	888,398			
職員給与費	480,209	71.3	54.5	66.5
材料費	69,853	10.4	24.1	18.1
(うち薬品費)	38,822	5.8	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,031	4.6	11.0	5.6
減価償却費	68,245	10.1	9.0	11.3
経費	267,917	39.8	23.3	30.5
(うち委託料)	93,575	13.9	10.8	11.7
研究研修費	914			
資産減耗費	1,260			
(2) 医業外費用	42,224			
(うち支払利息)	19,868	3.0	1.9	2.4
(3) 特別損失	397			
損益				
経常損益	-63,514			
純損益	-63,911			
累積欠損金	212,090			
経常収支比率	93.2		98.7	97.7
医業収支比率	75.8		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	28.9		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	37.2		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	28.9		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	66.3		86.8	76.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	15,423,382
1 固定資産	13,216,381
(1) 有形固定資産	12,924,127
(2) 無形固定資産	1,191
(3) 投資その他の資産	291,063
2 流動資産	2,207,001
(1) 現金及び預金	1,236,250
(2) 未収金及び未収収益	921,864
(3) 貸倒引当金（ ）	332
(4) 貯蔵品	49,219
3 繰延資産	-
負債合計	12,987,552
1 固定負債	11,399,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,397,181
(2) その他の企業債	2,066
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,351,361
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	810,006
(2) その他の企業債	511
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	213,376
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	325,460
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	236,944
(1) 長期前受金	382,671
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	145,727
資本合計	2,435,830
1 資本金	8,976,344
2 剰余金	-6,540,514
(1) 資本金剰余金	18,650
(2) 利益剰余金	-6,559,164
負債・資本合計	15,423,382
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	248,607	250,557
資本勘定繰入	22,355	22,355
計	270,962	272,912

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	111.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	大崎市
				病院名	大崎市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	50,178 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	43	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	486	90.5	84.0	82.9
療養	-	-	-	-
結核	8	12.5	25.3	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	2.4	1.5	-
計	500	88.1	81.9	80.3
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	10.1	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	63,501,334	
標準財政規模(千円)	36,965,182	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	53.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.9
修正医業収支金額(千円)	16,778,449

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	19,568,187				
1 経常収益	19,235,731				
(1) 医業収益	17,559,004				
入院収益	10,354,731				
外来収益	5,714,662				
診療収入計	16,069,393				
その他医業収益	1,489,611				
(うち他会計負担金)	780,555				
(2) 医業外収益	1,676,727				
(うち国・都道府県補助金)	69,920				
(うち他会計補助・負担金)	715,442				
(うち長期前受金戻入)	535,341				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	332,456				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	19,641,798				
2 経常費用	19,633,872				
(1) 医業費用	18,666,174				
職員給与費	7,230,242	41.2	54.5	49.7	
材料費	5,560,513	31.7	24.1	27.4	
(うち薬品費)	3,116,841	17.8	12.6	14.4	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,443,672	13.9	11.0	12.6	
減価償却費	1,849,156	10.5	9.0	8.6	
経費	3,932,564	22.4	23.3	20.4	
(うち委託料)	1,630,354	9.3	10.8	11.0	
研究研修費	72,930				
資産減耗費	20,769				
(2) 医業外費用	967,698				
(うち支払利息)	236,179	1.3	1.9	1.7	
(3) 特別損失	7,926				
損益					
経常損益	-398,141				
純損益	-73,611				
累積欠損金	1,241,059				
経常収支比率	98.0		98.7	100.0	
医業収支比率	94.1		89.5	93.7	
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.0	9.1	
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.0	10.3	
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.3	9.1	
実質収益対経常費用比率	90.4		86.8	90.9	

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,236,015
1 固定資産	30,376,642
(1) 有形固定資産	29,351,025
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,025,617
2 流動資産	5,859,373
(1) 現金及び預金	2,323,530
(2) 未収金及び未収収益	3,274,180
(3) 貸倒引当金()	14,493
(4) 貯蔵品	276,136
3 繰延資産	-
負債合計	29,422,446
1 固定負債	19,586,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,405,831
(2) その他の企業債	806
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,617,688
(7) リース債務	1,562,290
2 流動負債	3,821,729
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,573,919
(2) その他の企業債	1,608
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	555,142
(6) リース債務	112,262
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,478,206
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,014,102
(1) 長期前受金	7,157,660
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,143,558
資本合計	6,813,569
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-4,255,975
(1) 資本剰余金	1,337
(2) 利益剰余金	-4,257,312
負債・資本合計	36,236,015
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,495,997	1,495,997
資本勘定繰入	483,338	483,338
計	1,979,335	1,979,335

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院鳴子温泉分院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	8,794 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	50	64.8	67.1	71.3
療養	80	73.1	73.4	75.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	69.9	71.0	73.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	18.6	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	63,501,334	
標準財政規模(千円)	36,965,182	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	53.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.1
修正医業収支金額(千円)	898,798

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,239,637			
1 経常収益	1,205,495			
(1) 医業収益	938,672			
入院収益	769,221			
外来収益	111,187			
診療収入計	880,408			
その他医業収益	58,264			
(うち他会計負担金)	39,874			
(2) 医業外収益	266,823			
(うち国・都道府県補助金)	167			
(うち他会計補助・負担金)	219,878			
(うち長期前受金戻入)	26,652			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34,142			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,296,655			
2 経常費用	1,296,551			
(1) 医業費用	1,264,124			
職員給与費	697,482	74.3	54.5	58.9
材料費	53,429	5.7	24.1	18.0
(うち薬品費)	28,107	3.0	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,322	2.7	11.0	7.4
減価償却費	80,129	8.5	9.0	9.6
経費	417,258	44.5	23.3	30.8
(うち委託料)	153,716	16.4	10.8	12.1
研究研修費	2,275			
資産減耗費	13,551			
(2) 医業外費用	32,427			
(うち支払利息)	6,175	0.7	1.9	2.0
(3) 特別損失	104			
損益				
経常損益	-91,056			
純損益	-57,018			
累積欠損金	1,488,931			
経常収支比率	93.0		98.7	98.1
医業収支比率	74.3		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	21.5		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	27.7		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	21.0		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	72.9		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,236,015
1 固定資産	30,376,642
(1) 有形固定資産	29,351,025
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,025,617
2 流動資産	5,859,373
(1) 現金及び預金	2,323,530
(2) 未収金及び未収収益	3,274,180
(3) 貸倒引当金()	14,493
(4) 貯蔵品	276,136
3 繰延資産	-
負債合計	29,422,446
1 固定負債	19,586,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,405,831
(2) その他の企業債	806
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,617,688
(7) リース債務	1,562,290
2 流動負債	3,821,729
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,573,919
(2) その他の企業債	1,608
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	555,142
(6) リース債務	112,262
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,478,206
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,014,102
(1) 長期前受金	7,157,660
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,143,558
資本合計	6,813,569
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-4,255,975
(1) 資本剰余金	1,337
(2) 利益剰余金	-4,257,312
負債・資本合計	36,236,015
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,752	259,752
資本勘定繰入	36,672	36,672
計	296,424	296,424

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院岩出山分院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,230 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	40	74.0	84.8	82.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	74.0	84.8	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.5	20.7

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	63,501,334	
標準財政規模(千円)	36,965,182	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	53.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.6
修正医業収支金額(千円)	461,372

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	786,674			
1 経常収益	769,822			
(1) 医業収益	497,690			
入院収益	249,672			
外来収益	190,830			
診療収入計	440,502			
その他医業収益	57,188			
(うち他会計負担金)	36,318			
(2) 医業外収益	272,132			
(うち国・都道府県補助金)	92			
(うち他会計補助・負担金)	208,426			
(うち長期前受金戻入)	51,122			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16,852			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	784,940			
2 経常費用	784,595			
(1) 医業費用	761,590			
職員給与費	374,316	75.2	54.5	74.7
材料費	47,345	9.5	24.1	18.8
(うち薬品費)	22,938	4.6	12.6	11.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,407	4.9	11.0	6.4
減価償却費	94,233	18.9	9.0	12.5
経費	244,276	49.1	23.3	38.3
(うち委託料)	83,438	16.8	10.8	15.7
研究研修費	1,330			
資産減耗費	90			
(2) 医業外費用	23,005			
(うち支払利息)	5,949	1.2	1.9	1.9
(3) 特別損失	345			
損益				
経常損益	-14,773			
純損益	1,734			
累積欠損金	675,515			
経常収支比率	98.1		98.7	96.6
医業収支比率	65.3		89.5	68.6
他会計繰入金対経常収益比率	31.8		12.0	30.8
他会計繰入金対医業収益比率	49.2		14.0	45.9
他会計繰入金対総収益比率	31.1		12.3	30.5
実質収益対経常費用比率	66.9		86.8	66.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,236,015
1 固定資産	30,376,642
(1) 有形固定資産	29,351,025
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,025,617
2 流動資産	5,859,373
(1) 現金及び預金	2,323,530
(2) 未収金及び未収収益	3,274,180
(3) 貸倒引当金()	14,493
(4) 貯蔵品	276,136
3 繰延資産	-
負債合計	29,422,446
1 固定負債	19,586,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,405,831
(2) その他の企業債	806
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,617,688
(7) リース債務	1,562,290
2 流動負債	3,821,729
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,573,919
(2) その他の企業債	1,608
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	555,142
(6) リース債務	112,262
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,478,206
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,014,102
(1) 長期前受金	7,157,660
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,143,558
資本合計	6,813,569
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-4,255,975
(1) 資本剰余金	1,337
(2) 利益剰余金	-4,257,312
負債・資本合計	36,236,015
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	244,744	244,744
資本勘定繰入	46,227	46,227
計	290,971	290,971

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院鹿島台分院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,728 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	40	70.1	67.0	87.6
療養	30	71.1	48.7	88.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	70.5	59.2	88.1
平均在院日数(一般病床のみ)		23.3	20.6	23.3

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	63,501,334	
標準財政規模(千円)	36,965,182	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	53.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.7
修正医業収支金額(千円)	636,359

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	965,823			
1 経常収益	936,397			
(1) 医業収益	672,706			
入院収益	376,262			
外来収益	224,847			
診療収入計	601,109			
その他医業収益	71,597			
(うち他会計負担金)	36,347			
(2) 医業外収益	263,691			
(うち国・都道府県補助金)	121			
(うち他会計補助・負担金)	215,667			
(うち長期前受金戻入)	30,669			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,426			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,028,756			
2 経常費用	1,028,661			
(1) 医業費用	998,266			
職員給与費	501,406	74.5	54.5	66.5
材料費	62,241	9.3	24.1	18.1
(うち薬品費)	32,744	4.9	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,497	4.4	11.0	5.6
減価償却費	95,243	14.2	9.0	11.3
経費	336,682	50.0	23.3	30.5
(うち委託料)	115,595	17.2	10.8	11.7
研究研修費	1,852			
資産減耗費	842			
(2) 医業外費用	30,395			
(うち支払利息)	10,308	1.5	1.9	2.4
(3) 特別損失	95			
損益				
経常損益	-92,264			
純損益	-62,933			
累積欠損金	851,807			
経常収支比率	91.0		98.7	97.7
医業収支比率	67.4		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	26.9		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	37.5		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	66.5		86.8	76.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,236,015
1 固定資産	30,376,642
(1) 有形固定資産	29,351,025
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,025,617
2 流動資産	5,859,373
(1) 現金及び預金	2,323,530
(2) 未収金及び未収収益	3,274,180
(3) 貸倒引当金()	14,493
(4) 貯蔵品	276,136
3 繰延資産	-
負債合計	29,422,446
1 固定負債	19,586,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,405,831
(2) その他の企業債	806
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,617,688
(7) リース債務	1,562,290
2 流動負債	3,821,729
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,573,919
(2) その他の企業債	1,608
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	555,142
(6) リース債務	112,262
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,478,206
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,014,102
(1) 長期前受金	7,157,660
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,143,558
資本合計	6,813,569
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-4,255,975
(1) 資本剰余金	1,337
(2) 利益剰余金	-4,257,312
負債・資本合計	36,236,015
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	248,936	252,014
資本勘定繰入	92,152	92,152
計	341,088	344,166

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	蔵王町
				病院名	蔵王町国民健康保険蔵王病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,084 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	2	看護配置	25:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	10	91.4	96.1	96.5
療養	28	99.6	99.7	98.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	97.4	98.7	98.0
平均在院日数（一般病床のみ）		29.1	26.5	33.0

設立団体の状況		
人口（人）	12,316	
決算規模（千円）	5,887,291	
標準財政規模（千円）	4,077,848	
財政力指数	0.47	
経常収支比率（%）	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	6.3
	将来負担比率（%）	8.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	70.4
修正医業収支金額（千円）	282,960

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	420,711			
1 経常収益	420,711			
(1) 医業収益	331,012			
入院収益	197,530			
外来収益	70,343			
診療収入計	267,873			
その他医業収益	63,139			
(うち他会計負担金)	48,052			
(2) 医業外収益	89,699			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	85,969			
(うち長期前受金戻入)	1,173			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	411,673			
2 経常費用	411,595			
(1) 医業費用	402,205			
職員給与費	245,116	74.1	54.5	74.7
材料費	34,767	10.5	24.1	18.8
(うち薬品費)	9,747	2.9	12.6	11.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,975	4.5	11.0	6.4
減価償却費	11,071	3.3	9.0	12.5
経費	110,524	33.4	23.3	38.3
(うち委託料)	58,298	17.6	10.8	15.7
研究研修費	187			
資産減耗費	540			
(2) 医業外費用	9,390			
(うち支払利息)	280	0.1	1.9	1.9
(3) 特別損失	78			
損益				
経常損益	9,116			
純損益	9,038			
累積欠損金	44,555			
経常収支比率	102.2		98.7	96.6
医業収支比率	82.3		89.5	68.6
他会計繰入金対経常収益比率	31.9		12.0	30.8
他会計繰入金対医業収益比率	40.5		14.0	45.9
他会計繰入金対総収益比率	31.9		12.3	30.5
実質収益対経常費用比率	69.7		86.8	66.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	453,060
1 固定資産	164,456
(1) 有形固定資産	164,406
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	288,604
(1) 現金及び預金	234,234
(2) 未収金及び未収収益	51,826
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	2,544
3 繰延資産	-
負債合計	64,415
1 固定負債	16,611
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,611
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	39,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,434
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,105
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	16,018
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,247
(1) 長期前受金	54,363
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	46,116
資本合計	388,645
1 資本金	426,449
2 剰余金	-37,804
(1) 資本剰余金	6,751
(2) 利益剰余金	-44,555
負債・資本合計	453,060
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	102,569	134,021
資本勘定繰入	3,306	6,006
計	105,875	140,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	13.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	川崎町
				病院名	国民健康保険川崎病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,631 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	4	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	30	69.3	61.5	61.9
療養	28	76.8	79.1	75.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	72.5	67.4	66.4
平均在院日数（一般病床のみ）		18.7	23.2	35.5

設立団体の状況		
人口（人）	9,167	
決算規模（千円）	4,827,365	
標準財政規模（千円）	3,542,715	
財政力指数	0.30	
経常収支比率（%）	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	3.6
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	66.9
修正医業収支金額（千円）	519,957

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	784,787			
1 経常収益	782,429			
(1) 医業収益	577,977			
入院収益	325,979			
外来収益	169,066			
診療収入計	495,045			
その他医業収益	82,932			
(うち他会計負担金)	58,020			
(2) 医業外収益	204,452			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	190,602			
(うち長期前受金戻入)	7,033			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,358			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	824,403			
2 経常費用	819,085			
(1) 医業費用	776,736			
職員給与費	403,351	69.8	54.5	66.5
材料費	89,882	15.6	24.1	18.1
(うち薬品費)	46,503	8.0	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,206	5.9	11.0	5.6
減価償却費	41,875	7.2	9.0	11.3
経費	239,245	41.4	23.3	30.5
(うち委託料)	84,346	14.6	10.8	11.7
研究研修費	1,637			
資産減耗費	746			
(2) 医業外費用	42,349			
(うち支払利息)	24,000	4.2	1.9	2.4
(3) 特別損失	5,318			
損益				
経常損益	-36,656			
純損益	-39,616			
累積欠損金	1,253,683			
経常収支比率	95.5		98.7	97.7
医業収支比率	74.4		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	31.8		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	43.0		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	31.7		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	65.2		86.8	76.6

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	964,397
1 固定資産	842,080
(1) 有形固定資産	841,609
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	122,317
(1) 現金及び預金	36,037
(2) 未収金及び未収収益	84,335
(3) 貸倒引当金（ ）	4,201
(4) 貯蔵品	6,146
3 繰延資産	-
負債合計	857,935
1 固定負債	521,478
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	489,943
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	31,535
(7) リース債務	-
2 流動負債	123,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	60,273
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,700
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,181
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	212,950
(1) 長期前受金	502,356
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	289,406
資本合計	106,462
1 資本金	1,279,833
2 剰余金	-1,173,371
(1) 資本金剰余金	80,312
(2) 利益剰余金	-1,253,683
負債・資本合計	964,397
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	177,083	248,622
資本勘定繰入	45,227	52,997
計	222,310	301,619

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	216.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	丸森町
				病院名	丸森町国民健康保険丸森病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,360 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	5	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	55	73.9	71.9	76.5
療養	35	73.5	77.7	82.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	73.7	74.2	78.7
平均在院日数（一般病床のみ）		21.6	23.5	21.3

設立団体の状況		
人口（人）	13,972	
決算規模（千円）	8,111,876	
標準財政規模（千円）	5,215,858	
財政力指数	0.28	
経常収支比率（%）	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.5
	将来負担比率（%）	68.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	83.0
修正医業収支金額（千円）	870,923

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,142,837			
1 経常収益	1,142,837			
(1) 医業収益	964,362			
入院収益	475,949			
外来収益	281,286			
診療収入計	757,235			
その他医業収益	207,127			
(うち他会計負担金)	93,439			
(2) 医業外収益	178,475			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	162,825			
(うち長期前受金戻入)	10,813			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,123,601			
2 経常費用	1,115,435			
(1) 医業費用	1,048,709			
職員給与費	477,033	49.5	54.5	66.5
材料費	89,045	9.2	24.1	18.1
(うち薬品費)	33,788	3.5	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,304	5.6	11.0	5.6
減価償却費	53,861	5.6	9.0	11.3
経費	426,516	44.2	23.3	30.5
(うち委託料)	190,490	19.8	10.8	11.7
研究研修費	2,190			
資産減耗費	64			
(2) 医業外費用	66,726			
(うち支払利息)	34,856	3.6	1.9	2.4
(3) 特別損失	8,166			
損益				
経常損益	27,402			
純損益	19,236			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		98.7	97.7
医業収支比率	92.0		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	22.4		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	26.6		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	22.4		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	79.5		86.8	76.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,763,235
1 固定資産	1,364,323
(1) 有形固定資産	1,359,208
(2) 無形固定資産	61
(3) 投資その他の資産	5,054
2 流動資産	398,912
(1) 現金及び預金	277,767
(2) 未収金及び未収収益	121,702
(3) 貸倒引当金（ ）	1,200
(4) 貯蔵品	423
3 繰延資産	-
負債合計	1,251,076
1 固定負債	1,034,520
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,013,033
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	21,487
(7) リース債務	-
2 流動負債	184,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,552
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	37,824
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,590
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	32,240
(1) 長期前受金	573,817
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	541,577
資本合計	512,159
1 資本金	492,923
2 剰余金	19,236
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	19,236
負債・資本合計	1,763,235
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,829	256,264
資本勘定繰入	73,736	73,736
計	314,565	330,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	涌谷町
	病院名	涌谷町国民健康保険病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,569 m ²	指定病院の状況	救臨 へ 輪
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	80	69.1	72.7	81.9
療養	41	81.7	73.6	81.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	121	73.4	73.0	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	19.6	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	16,701	
決算規模(千円)	8,078,133	
標準財政規模(千円)	4,927,798	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	73.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.4
修正医業収支金額(千円)	1,636,497

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,025,587			
1 経常収益	2,025,587			
(1) 医業収益	1,759,401			
入院収益	777,788			
外来収益	766,074			
診療収入計	1,543,862			
その他医業収益	215,539			
(うち他会計負担金)	122,904			
(2) 医業外収益	266,186			
(うち国・都道府県補助金)	403			
(うち他会計補助・負担金)	214,890			
(うち長期前受金戻入)	34,918			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,108,231			
2 経常費用	2,108,231			
(1) 医業費用	2,035,405			
職員給与費	965,315	54.9	54.5	58.9
材料費	511,469	29.1	24.1	18.0
(うち薬品費)	418,053	23.8	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	74,786	4.3	11.0	7.4
減価償却費	130,544	7.4	9.0	9.6
経費	423,743	24.1	23.3	30.8
(うち委託料)	136,527	7.8	10.8	12.1
研究研修費	3,298			
資産減耗費	1,036			
(2) 医業外費用	72,826			
(うち支払利息)	24,339	1.4	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-82,644			
純損益	-82,644			
累積欠損金	899,191			
経常収支比率	96.1		98.7	98.1
医業収支比率	86.4		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	19.2		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	16.7		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	80.1		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,024,762
1 固定資産	1,647,978
(1) 有形固定資産	1,646,758
(2) 無形固定資産	1,220
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	376,784
(1) 現金及び預金	79,407
(2) 未収金及び未収収益	282,481
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	14,896
3 繰延資産	-
負債合計	1,705,850
1 固定負債	1,088,069
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,088,069
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	339,298
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	202,306
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,942
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	85,050
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	278,483
(1) 長期前受金	494,325
(2) 長期前受金収益化累計額()	215,842
資本合計	318,912
1 資本金	1,185,917
2 剰余金	-867,005
(1) 資本金剰余金	32,186
(2) 利益剰余金	-899,191
負債・資本合計	2,024,762
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	222,950	337,794
資本勘定繰入	100,607	208,226
計	323,557	546,020

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	美里町
	病院名	美里町立南郷病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,899 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	5	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	50	57.4	60.8	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	57.4	60.8	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		26.8	25.4	28.8

設立団体の状況		
人口(人)	24,852	
決算規模(千円)	10,308,137	
標準財政規模(千円)	7,175,476	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	60.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.7
修正医業収支金額(千円)	436,345

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	648,942			
1 経常収益	648,942			
(1) 医業収益	472,639			
入院収益	221,130			
外来収益	159,888			
診療収入計	381,018			
その他医業収益	91,621			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	176,303			
(うち国・都道府県補助金)	4,020			
(うち他会計補助・負担金)	143,706			
(うち長期前受金戻入)	27,117			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	683,669			
2 経常費用	683,669			
(1) 医業費用	644,577			
職員給与費	298,373	63.1	54.5	66.5
材料費	78,543	16.6	24.1	18.1
(うち薬品費)	48,356	10.2	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,187	6.4	11.0	5.6
減価償却費	48,012	10.2	9.0	11.3
経費	218,443	46.2	23.3	30.5
(うち委託料)	64,127	13.6	10.8	11.7
研究研修費	318			
資産減耗費	888			
(2) 医業外費用	39,092			
(うち支払利息)	24,613	5.2	1.9	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-34,727			
純損益	-34,727			
累積欠損金	476,928			
経常収支比率	94.9		98.7	97.7
医業収支比率	73.3		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	27.7		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	38.1		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	27.7		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	68.6		86.8	76.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,164,320
1 固定資産	835,726
(1) 有形固定資産	835,726
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	328,594
(1) 現金及び預金	261,622
(2) 未収金及び未収収益	64,063
(3) 貸倒引当金()	8
(4) 貯蔵品	2,817
3 繰延資産	-
負債合計	726,428
1 固定負債	540,034
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	540,034
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	149,779
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	84,747
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,602
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,714
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	36,615
(1) 長期前受金	90,392
(2) 長期前受金収益化累計額()	53,777
資本合計	437,892
1 資本金	914,820
2 剰余金	-476,928
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-476,928
負債・資本合計	1,164,320
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	179,486	180,000
資本勘定繰入	47,264	47,264
計	226,750	227,264

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	女川町
		病院名	女川町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,334	
決算規模(千円)	56,229,165	
標準財政規模(千円)	3,756,798	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	85.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,045			
1 経常収益	8,045			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	8,045			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,045			
2 経常費用	8,045			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	66.5
材料費	-	-	24.1	18.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.3
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	10.8	11.7
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	8,045			
(うち支払利息)	8,045	-	1.9	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	97.7
医業収支比率	-		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	76.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	南三陸町
	病院名	南三陸病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	8,554 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	40	72.3	74.3	75.9
療養	50	56.5	90.6	99.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	65.4	79.5	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	20.6	22.1

設立団体の状況		
人口(人)	12,370	
決算規模(千円)	53,988,207	
標準財政規模(千円)	5,459,596	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	84.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	48.7
修正医業収支金額(千円)	665,407

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,302,506			
1 経常収益	1,283,139			
(1) 医業収益	715,407			
入院収益	286,947			
外来収益	339,486			
診療収入計	626,433			
その他医業収益	88,974			
(うち他会計負担金)	50,000			
(2) 医業外収益	567,732			
(うち国・都道府県補助金)	200,000			
(うち他会計補助・負担金)	200,000			
(うち長期前受金戻入)	91,460			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,367			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,429,202			
2 経常費用	1,409,127			
(1) 医業費用	1,367,609			
職員給与費	698,117	97.6	54.5	66.5
材料費	116,323	16.3	24.1	18.1
(うち薬品費)	35,007	4.9	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,977	10.3	11.0	5.6
減価償却費	94,815	13.3	9.0	11.3
経費	456,022	63.7	23.3	30.5
(うち委託料)	217,581	30.4	10.8	11.7
研究研修費	2,332			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	41,518			
(うち支払利息)	5,095	0.7	1.9	2.4
(3) 特別損失	20,075			
損益				
経常損益	-125,988			
純損益	-126,696			
累積欠損金	2,655,995			
経常収支比率	91.1		98.7	97.7
医業収支比率	52.3		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.9		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	19.2		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	73.3		86.8	76.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,335,851
1 固定資産	5,829,404
(1) 有形固定資産	5,337,863
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	491,541
2 流動資産	1,506,447
(1) 現金及び預金	545,580
(2) 未収金及び未収収益	958,405
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,462
3 繰延資産	-
負債合計	6,985,022
1 固定負債	439,140
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	439,140
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	977,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,668
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	337,120
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,568,094
(1) 長期前受金	5,751,469
(2) 長期前受金収益化累計額()	183,375
資本合計	350,829
1 資本金	2,979,075
2 剰余金	-2,628,246
(1) 資本金剰余金	27,749
(2) 利益剰余金	-2,655,995
負債・資本合計	7,335,851
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,000	250,000
資本勘定繰入	197,310	241,601
計	447,310	491,601

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	371.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	白石市外二町組合
	病院名	公立刈田総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,164 m ²	指定病院の状況	救感災輪
診療科数	19	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	309	59.9	63.7	62.1
療養	-	-	-	-
結核	4	1.1	2.4	3.8
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	317	58.4	62.1	60.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	17.0	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	3,639	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	67.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.2
修正医業収支金額(千円)	4,216,336

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,239,741			
1 経常収益	5,111,966			
(1) 医業収益	4,490,655			
入院収益	2,735,063			
外来収益	1,278,103			
診療収入計	4,013,166			
その他医業収益	477,489			
(うち他会計負担金)	274,319			
(2) 医業外収益	621,311			
(うち国・都道府県補助金)	7,162			
(うち他会計補助・負担金)	493,689			
(うち長期前受金戻入)	58,009			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	127,775			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,998,584			
2 経常費用	5,997,384			
(1) 医業費用	5,607,978			
職員給与費	2,460,977	54.8	54.5	55.3
材料費	676,043	15.1	24.1	24.2
(うち薬品費)	317,848	7.1	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	358,195	8.0	11.0	11.5
減価償却費	593,371	13.2	9.0	8.8
経費	1,768,520	39.4	23.3	21.7
(うち委託料)	633,688	14.1	10.8	10.3
研究研修費	15,725			
資産減耗費	93,342			
(2) 医業外費用	389,406			
(うち支払利息)	176,405	3.9	1.9	2.1
(3) 特別損失	1,200			
損益				
経常損益	-885,418			
純損益	-758,843			
累積欠損金	12,657,099			
経常収支比率	85.2		98.7	97.6
医業収支比率	80.1		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.1		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	14.7		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	72.4		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,621,306
1 固定資産	7,661,635
(1) 有形固定資産	7,477,959
(2) 無形固定資産	2,029
(3) 投資その他の資産	181,647
2 流動資産	959,671
(1) 現金及び預金	192,801
(2) 未収金及び未収収益	686,206
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	80,664
3 繰延資産	-
負債合計	11,236,073
1 固定負債	9,126,525
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,690,515
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	321,587
(7) リース債務	114,423
2 流動負債	1,434,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	624,962
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	167,192
(6) リース債務	34,572
(7) 一時借入金	320,000
(8) 未払金及び未払費用	245,278
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	675,332
(1) 長期前受金	1,276,816
(2) 長期前受金収益化累計額()	601,484
資本合計	-2,614,767
1 資本金	10,012,542
2 剰余金	-12,627,309
(1) 資本剰余金	1,050
(2) 利益剰余金	-12,628,359
負債・資本合計	8,621,306
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,614,767
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,939,435
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	709,984	768,008
資本勘定繰入	394,341	542,807
計	1,104,325	1,310,815

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	281.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	黒川地域行政事務組合
	病院名	公立黒川病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,025 m ²	指定病院の状況	救臨 へ
診療科数	14	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	110	69.8	66.8	71.6
療養	60	76.8	75.2	71.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	72.3	69.8	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	15.9	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,144,510	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	69.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.8
修正医業収支金額(千円)	2,874,458

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,112,373			
1 経常収益	3,112,373			
(1) 医業収益	2,884,458			
入院収益	1,552,954			
外来収益	1,197,376			
診療収入計	2,750,330			
その他医業収益	134,128			
(うち他会計負担金)	10,000			
(2) 医業外収益	227,915			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	189,486			
(うち長期前受金戻入)	21,463			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,176,247			
2 経常費用	3,176,247			
(1) 医業費用	3,097,216			
職員給与費	21,958	0.8	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	126,415	4.4	9.0	9.6
経費	2,945,176	102.1	23.3	30.8
(うち委託料)	2,897,973	100.5	10.8	12.1
研究研修費	-			
資産減耗費	3,667			
(2) 医業外費用	79,031			
(うち支払利息)	71,953	2.5	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-63,874			
純損益	-63,874			
累積欠損金	2,696,988			
経常収支比率	98.0		98.7	98.1
医業収支比率	93.1		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.9		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	6.4		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	91.7		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,587,041
1 固定資産	3,698,902
(1) 有形固定資産	3,691,824
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	7,078
2 流動資産	888,139
(1) 現金及び預金	15,618
(2) 未収金及び未収収益	478,521
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,377,283
1 固定負債	2,239,153
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,234,577
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,728
(7) リース債務	1,848
2 流動負債	566,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	232,507
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	12,556
(6) リース債務	747
(7) 一時借入金	250,000
(8) 未払金及び未払費用	70,940
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	571,380
(1) 長期前受金	738,863
(2) 長期前受金収益化累計額()	167,483
資本合計	1,209,758
1 資本金	3,906,746
2 剰余金	-2,696,988
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,696,988
負債・資本合計	4,587,041
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	77,475	199,486
資本勘定繰入	137,028	213,800
計	214,503	413,286

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	加美郡保健医療福祉行政事務組合
	病院名	公立加美病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,804 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	40	82.3	82.6	82.4
療養	50	76.4	71.7	76.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	79.0	76.6	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	17.2	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	699,795	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	100.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.5
修正医業収支金額(千円)	968,425

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,404,338			
1 経常収益	1,404,338			
(1) 医業収益	1,023,216			
入院収益	578,959			
外来収益	283,547			
診療収入計	862,506			
その他医業収益	160,710			
(うち他会計負担金)	54,791			
(2) 医業外収益	381,122			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	211,137			
(うち長期前受金戻入)	168,785			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,483,437			
2 経常費用	1,483,437			
(1) 医業費用	1,413,846			
職員給与費	712,377	69.6	54.5	66.5
材料費	132,343	12.9	24.1	18.1
(うち薬品費)	51,489	5.0	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	80,196	7.8	11.0	5.6
減価償却費	178,643	17.5	9.0	11.3
経費	387,338	37.9	23.3	30.5
(うち委託料)	144,338	14.1	10.8	11.7
研究研修費	1,627			
資産減耗費	1,518			
(2) 医業外費用	69,591			
(うち支払利息)	36,349	3.6	1.9	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-79,099			
純損益	-79,099			
累積欠損金	1,770,912			
経常収支比率	94.7		98.7	97.7
医業収支比率	72.4		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	26.0		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	18.9		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	76.7		86.8	76.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,211,479
1 固定資産	1,964,039
(1) 有形固定資産	1,963,600
(2) 無形固定資産	439
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	247,440
(1) 現金及び預金	77,075
(2) 未収金及び未収収益	159,833
(3) 貸倒引当金()	1,089
(4) 貯蔵品	11,621
3 繰延資産	-
負債合計	2,394,608
1 固定負債	1,634,241
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,634,241
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	315,611
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,578
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,361
(6) リース債務	1,663
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	104,009
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	444,756
(1) 長期前受金	1,230,874
(2) 長期前受金収益化累計額()	786,118
資本合計	-183,129
1 資本金	1,508,342
2 剰余金	-1,691,471
(1) 資本金剰余金	79,441
(2) 利益剰余金	-1,770,912
負債・資本合計	2,211,479
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	183,129
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	208,978	265,928
資本勘定繰入	95,442	152,905
計	304,420	418,833

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	173.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	みやぎ県南中核病院企業団
				病院名	みやぎ県南中核病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,364 m ²	指定病院の状況	救臨へ災地輪		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	310	78.8	81.6	79.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	310	78.8	81.6	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	12.2	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.2
修正医業収支金額(千円)	7,729,763

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,687,721			
1 経常収益	8,687,607			
(1) 医業収益	8,176,924			
入院収益	4,929,939			
外来収益	2,476,739			
診療収入計	7,406,678			
その他医業収益	770,246			
(うち他会計負担金)	447,161			
(2) 医業外収益	510,683			
(うち国・都道府県補助金)	135,685			
(うち他会計補助・負担金)	230,843			
(うち長期前受金戻入)	69,326			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	114			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,655,969			
2 経常費用	9,643,620			
(1) 医業費用	9,175,174			
職員給与費	3,940,269	48.2	54.5	55.3
材料費	2,064,692	25.3	24.1	24.2
(うち薬品費)	1,276,839	15.6	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	787,853	9.6	11.0	11.5
減価償却費	859,646	10.5	9.0	8.8
経費	2,263,547	27.7	23.3	21.7
(うち委託料)	989,161	12.1	10.8	10.3
研究研修費	35,634			
資産減耗費	11,386			
(2) 医業外費用	468,446			
(うち支払利息)	201,377	2.5	1.9	2.1
(3) 特別損失	12,349			
損益				
経常損益	-956,013			
純損益	-968,248			
累積欠損金	11,262,051			
経常収支比率	90.1		98.7	97.6
医業収支比率	89.1		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	83.1		86.8	86.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,770,436
1 固定資産	10,065,981
(1) 有形固定資産	10,065,981
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,704,455
(1) 現金及び預金	32,249
(2) 未収金及び未収収益	1,479,943
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	192,263
3 繰延資産	-
負債合計	13,347,850
1 固定負債	9,652,535
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,510,451
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	142,084
2 流動負債	2,497,093
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	909,858
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	244,407
(6) リース債務	76,665
(7) 一時借入金	270,000
(8) 未払金及び未払費用	996,163
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,198,222
(1) 長期前受金	1,664,690
(2) 長期前受金収益化累計額()	466,468
資本合計	-1,577,414
1 資本金	9,671,349
2 剰余金	-11,248,763
(1) 資本剰余金	13,288
(2) 利益剰余金	-11,262,051
負債・資本合計	11,770,436
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,577,414
資本不足額(繰延収益控除後)()	379,192
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	609,856	678,004
資本勘定繰入	532,783	864,578
計	1,142,639	1,542,582

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	137.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。